

「あの花」岡田さんら受賞

県、荻野吟子賞で表彰式

県の「第15回さいたま輝き荻野吟子賞」の受賞者3個人2団体が決定し、さいたま市浦和区の知事公館で12日、表



大野元裕知事(後列中央)から表彰状を贈られた受賞者ら。12日、さいたま市浦和区

彰式が行われた。同賞は2005年から、日本最初の公認女性医師となった県出身の荻野吟子にちなみ、男女共同参画社会の推進に功績のある個人や団体に贈られている。表彰式に出席した2個人2団体には大野元裕知事から表彰状などが授与された。

県在住または出身で先駆的な取り組みによる功績が著しい人や団体が対象の「きらきら輝き部門」では、出身地の秩父を舞台にしたアニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」などの脚本を執筆した岡田麿里さん(43)が受賞した。

各分野に挑戦し、今後も活躍が期待される40歳未満の人が対象の「さわやかチャレンジ部門」では、ものづくりコーディネイト会社を経営し町

田中央医科グループ(戸田市)が受賞した。

工場の販路や取引拡大に貢献している石田七瀬さん(39)川口市と、ベンチャーウ

受賞した吉川さんは「うれしさと同時に、身が引き締まるような気持ち。ウイスキーは世界的に女性が少ない業界で女性の視点は強みにもなる。今まで蓄積した経験などを次世代に受け継いでもらえるよ

イスキーの「イチローズモルト」の認知度向上に取り組み、秩父市内に英国パブを開業したブランドアンバサダーの吉川由美さん(38)秩父市が受賞した。

う伝えていきたい」と喜びを語った。

男女が共同して参画できる職場づくりに取り組み県内事業所に贈られる「いきいき職場部門」では、積極的な女性

技術者の採用や時間単位の有給取得などを促進している田部井建設(熊谷市)と、院内

保育所の整備や女性管理職の育成などに力を入れている戸

部井建設(熊谷市)と、院内保育所の整備や女性管理職の育成などに力を入れている戸